

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		阿桜園 放課後等デイサービスさくらっこ		公表日 令和8年2月16日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	令和7年4月から定員15名となったことに伴い、活動可能なスペースを増やしました。グループ分けを行う等工夫しながら、安全に活動できるように配慮しています。	・ご利用者様の人数に応じて、活動スペースを有効に活用できるように心掛けていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	適切に配慮しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	11	トイレに段差があったり、活動スペースに柱があったりと危険が伴う箇所もあり、常に安全面に気を配りながら支援しています。	・ご利用者様が分かりやすく、かつ過ごしやすい構造化された環境を目指し、適切な配慮を行ってまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	4	令和7年6月に療育ホールにエアコンを設置し快適な空間で過ごせるようになりました。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	8	活動場所としては2部屋ありますが、片方の部屋を個室として使用することは利用人数から見ても難しい状況です。パーティションで仕切って個別の空間を作る等の工夫をしながら支援しています。	・今後も必要に応じて、個別のスペースを整える等の工夫をしながら、環境を整えていきたいと思っております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	0	毎日の打ち合わせ時に意見を出し合いながら、業務改善に努めています。	・今後も打ち合わせにより情報共有を行い、より良い支援を行えるように努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	保護者向けの評価表により、保護者様の意向を把握しながら、業務改善に努めています。	・保護者様のご意見を真摯に受け止め、今後の業務改善に努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	月1回程度の会議を開催したり、日々の打ち合わせにより意見交換しながら、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	11	第三者による外部評価は行っていませんが、法人で行っている内部監査を通して、業務改善につなげています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	5	外部の研修や園内研修を通して、職員の資質の向上を図っています。	・今後も各種研修等を通じて、職員の自己研鑽に努めてまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	支援プログラムを公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	アセスメントを適切に行うことで個々のニーズや課題を導き出し、一人ひとりに適した個別支援計画書を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	利用者様に関わる職員が参加し、利用者様の最善の利益を考慮した検討会議を行っています。会議により、職員間で共通認識を持ち、個別支援計画書を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	個別支援計画書の内容について職員間で周知された上で、日々の支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	法人で統一されたアセスメント様式を活用して行う他、日常の様子を観察することで、本人の特性を把握するように努めています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	個別支援計画書に、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の支援内容を設定して支援しています。今後もモニタリングにより振り返りを行いながら、より良い支援を提供できるように努めます。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	職員間で話し合いの上、立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	職員間で話し合い、活動プログラムが固定化しないように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	個別支援計画書の内容に、個別活動や集団活動を取り入れて支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	支援開始前に打ち合わせを行い、その日の活動、支援内容、役割分担等について確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	支援終了後には、その日の支援の振り返りや、気になる点について情報共有し、次につながるよう努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	日々の支援に関しては、起きたことを正確に記録し、支援の検証・改善につなげるよう努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	定期的にモニタリングを実施し、個別支援計画書の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11	0	ガイドラインの内容に沿って、4つの基本活動を組み合わせ支援するよう努めています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0	活動や遊びの場面で、自己選択する機会を設けています。今後も自己決定することを積み重ねていけるような支援が必要です。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	常に相談支援事業所と情報共有に努め、共通認識で支援を行う体制を取っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	主に教育機関と連携を図りながら支援をしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	送迎時に、必要な事柄について情報共有を図っています。また、学校で設定した訪問期間を活用して、利用者様の学校での様子について情報収集に努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	5	相談支援専門員を介して、情報共有に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	0	相談支援専門員を介して、情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	11	地域に児童発達支援センターはないため、助言等を受ける機会がありません。研修に関しては、事業所外の研修会に参加するなど、スキルアップを図っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	11	放課後児童クラブや児童館との交流は行っていません。	・公共の施設への外出は行いましたが、地域のお子様との交流を目的としたものではありませんでした。今後はご意向を確認させていただきながら、検討していきたいと思っております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11	0	児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	保護者との面談や送迎時等を利用して、必要事項については伝えていきます。	・今後も面談や送迎時に、ご利用者の状況を伝え合いながら、情報共有に努めてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	ペアレントトレーニングは行っていませんが、家族に対して各種研修についての情報提供を行っています。	・各種研修の情報提供を行いましたが、事業所内で研修を開催することはできませんでした。次年度は、ご家族に参加していただける研修を計画したいと考えております。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	丁寧に説明を行うよう努めています。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	面談等を通して、利用者様や保護者様の意向を確認し、個別支援計画書を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	個別支援計画書を示しながら、支援内容について説明を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	保護者様からの相談には適宜応じています。	・定期的な面談の他にも、ご希望時には面談の機会を設けてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	11	父母の会の活動支援や保護者会等の開催は行っていません。開催に関しては、保護者様の意見を伺う必要があります。	・ニーズが少ないため実施する予定はございませんが、今後必要に応じて検討いたします。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	苦情受付の体制は整っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	0	HPやInstagramにより、日々の活動の様子をお知らせしています。また、CANメールにより、必要な情報を保護者様にお知らせしています。	・今後も定期的に掲載していけるように努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	法人が定めた個人情報保護規定に基づき、取扱いには十分に配慮しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	個々の特性に応じて、意思の疎通や汲み取りができるように、必要な支援を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	11	以前は地域住民を招待した園行事を行っていましたが、現在は行っていません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	各種マニュアルについては、職員間で周知しています。災害を想定とした避難訓練を実施しています。	・各種マニュアルは策定していますが、ご家族への周知・説明は十分とは言えないため、方法を検討してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	業務継続計画を策定し、必要な訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11	0	事前に服薬やてんかん発作等の状況について確認し、支援しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	現在は該当者はいませんが、受け入れの際は医療と連携して対応します。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	安全計画を作成し、必要な研修や訓練を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	11	安全計画を作成し計画に沿って取り組んでいますが、家族等への周知は十分とは言えません。	・安全計画のご家族への周知・説明は十分とは言えないため、方法を検討してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	ヒヤリ・ハット発生時は、ヒヤリ・ハット報告書を作成して職員間で情報共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	虐待防止チェックリストの実施や、研修に参加し、虐待防止に向けた取り組みを強化しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0	身体拘束マニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応しています。やむを得ず身体拘束を行う場合は、個別支援計画書に記載し、利用者様や保護者様に十分に説明し、了解を得た上で支援しています。	